

報道関係各位

バスケットボールB3リーグ 岡山戦 地上波生中継に合わせ「手話実況」を生配信【実施結果】

岡山放送株式会社（本社：岡山市北区下石井二丁目10-12、以下OHK）は10月5日にジップアリーナ岡山で開催された「B3リーグ 2024-2025シーズン 第2節 トライフープ岡山vs徳島ガンバロウズ」を地上波で生中継するとともに、YouTubeのOHK公式チャンネルにて「手話実況」を同時生配信しました。



手話実況配信画面



手話実況配信スタジオの様子

手話実況とは、OHKが30年以上継続している手話放送とスポーツ実況中継のノウハウを生かし、誰もが当たり前前にスポーツ観戦を楽しめる環境を創出しようと、一般財団法人トヨタ・モビリティ基金（東京都文京区、理事長：豊田章男）の助成を受け、2022年秋に日本で初めて実施した実況スタイルで、音声実況を健聴者が手話通訳し、それを見たろう者が自身の言葉として手話で実況する画期的な取組です。

これまでモータースポーツ、マラソン、サッカー競技で手話実況を実施してきましたが、今回初となるバスケットボールではトライフープ岡山と協力し、地上波で試合中継を放送すると同時に、インターネットで手話実況付き映像を配信しました。手話は聴覚に障がいのある方にとっての言語で、情報を的確に伝えるコミュニケーション手段ですが、ろう者自身が言葉の意味をくみ取り具体的に表現する手の動きや表情も含めた手話実況は、スピード感や臨場感にあふれ、障がいの有無に関わらずスポーツの魅力を感じてもらえる機会となります。

当日の手話実況は、OHKが主催する「OHK手話実況アカデミー」に所属するろう者で自身もアスリートの早瀬憲太郎氏、3人のコネクター（手話通訳者）、そしてOHKの3者がタッグを組み、さらにデフバスケット元女子日本代表の大塚紀美氏も解説に加わり、2時間にわたるホーム開幕戦をお伝えしました。

手話実況誕生から2年、バスケットボールはこれまで取り組んだ競技の中で試合展開が最も速いスポーツで、実況・解説ともに集中力や瞬発力が欠かせません。OHK手話実況スタッフは事前勉強会を重ね、選手名やルールなどを瞬時に表す的確な手話表現をチームと協力して考案したり、地上波放送スタッフとテロップの位置や送出タイミングを入念に打合せするなどし当日の配信に臨みました。配信を見たろう者は、「とても良かった。バスケの解説があると私のような競技の分からない人間も楽しめる。手話実況の必要性を感じていなかったが考えが変わった」、聴者の手話通訳者は「初めはろう者自身が手話通訳する“ろう通訳”と思ったが、早瀬さんの方が情報が早い時や情報量が多い時があり、早瀬さん自身の言葉で実況していることが分かり鳥肌が立った」と感想を寄せました。

OHKは来月、5競技目となる卓球の公式試合で手話実況を行う予定です。

<地上波放送> ■番組名：岡山マツダスポーツスペシャル トライフープ岡山V S 徳島ガンバロウズ
■放送日時：2024年10月5日(土)12:00~14:00

<手話実況配信> ■タイトル：B3リーグ 2024-2025シーズン 第2節 トライフープ岡山vs徳島ガンバロウズ
■配信日時：2024年10月5日(土)12:00~ OHK公式チャンネル (YouTube) ※配信は終了
■手話実況スタッフ
ろう実況者： 早瀬憲太郎 (自転車競技デフアスリート、OHK手話実況アカデミー)
ろう解説者： 大塚紀美 (デフバスケット元女子日本代表 主将)

